

『9』のつく日は、レストハウスで海・山・里の幸を！
 ～新鮮な海産物・農産物といったら東通村生産物等直売所へ行こう～



お目当ての魚を求めるお客様

今年も野牛川レストハウス隣に東通村生産物等直売所がオープンしました。11月までの毎月9日・19日・29日の午前10時から、東通村の旬な海の幸・山の幸・里の幸を販売していきます。海の幸は、岩のり、こんぶなどの乾物や、サクラマス、メバル、カレイなどの当日水揚げされた新鮮な魚が並び、お目当ての魚を求めるお客様で賑わいました。

山の幸・里の幸は、朝一番に採れた、シイタケ、ジャガイモ、ネギなどお買い得な値段で販売されました。お客様の中には袋いっぱいにお買い求め頂いている方もいて、大盛況でした。



水揚げされたばかりの旬の魚



朝採り野菜（シイタケ等）の販売

『ひとつずつ いいね！で確認 火の用心』（全国統一防火標語）
 ～令和2年 春の火災予防運動防火パレード出動式～

「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」を統一標語に青森県春の火災予防運動が4月13日にスタート、19日までの期間で県内各地において火災予防運動が展開されました。

運動初日の4月13日、東通消防署前で防火パレード出動式が開催され、越善靖夫村長から訓示が述べられた後、消防署員による車両点検などを行い、車両に乗り込み警鐘を鳴らしながらそれぞれが村内へと向かいました。

東通村では、平成31年4月1日から令和2年3月31日の1年間に、8件の火災が発生しています。

今の時期は、1年で最も空気が乾燥し、火災の発生が心配される季節となっております。ちよつとした火の不始末から発生する火災が懸念されます。

火の取扱いには、十分注意しましょう。



警鐘を鳴らしながら各地区へ出動する車両



訓示を述べる越善村長



出動式での署員整列

「第2次下北圏域定住自立圏共生ビジョン」が策定されました！

下北圏域の暮らしに必要な生活機能を確保し、人口定住を促進し、圏域の活性化を図るための新たな広域連携の取組として、中心市であるむつ市と東通村・大間町・風間浦村・佐井村において、平成27年に「定住自立圏形成協定」を締結しました。

このことについて、令和元年12月25日に一部を変更する協定書を締結し、教育分野において「視聴覚教育環境の充実」を削除し、新たに「下北人材育成・確保プロジェクト」を追加しました。

また、この協定書に基づき推進する具体的取組等を記載した「下北圏域定住自立圏共生ビジョン」について、計画期間が令和元年度で終了することから、令和2年2月6日に「第2次下北圏域定住自立圏共生ビジョン」が策定されました。

協定書及び共生ビジョンの詳細は、村ホームページをご覧ください。

